

# 自然の家は秋真っ盛り!

いよいよ秋本番となりました。自然の家の活動地も、色鮮やかな紅葉やどんぐりなどの木の実がたくさん見られるようになりました。8・9月には、企画事業「親子キャンプ～火と木の巻～」 「親子キャンプ～食の巻～」 「朝少フェスタ2018」を行い、たくさんの方々よりご参加いただきました。秋の朝少も楽しい活動やイベントが目白押しですので、ぜひ遊びに来てくださいね!

## 親子キャンプ第2弾～火と木の巻～



薪割り体験や、初めて使うマッチで火をつけての野外炊飯、大きなキャンプファイヤーを囲んでとびきりのおやつ作りなど…。火の大切さを学んだり木を使ったいろいろな遊びに親しんだりした2日間でした。



## 親子キャンプ第3弾～食の巻～

親子キャンプの最終回となる今回のテーマは、「地域の食文化」と「命」です。

1日目の目玉は「ニジマスのつかみ取り!」。自分たちがつかまえた魚をその場でさばいて塩焼きにし、大切な命をいただきました。夕食には、朝少名物の大なべて調理した山形の秋の風物詩「芋煮」が振る舞われました。



2日目は、上山市在住の郷土料理研究家、鈴木ウメコ先生を講師に迎え、「じゃがいもだんごとみそおにぎり」を親子で作りました。手軽に作れる郷土の味に、子どもたちからは、「おいしい!また作ってみたい!」などの声があがっていました。



## みんながニコニコ!朝少フェスタ2018

朝少のお祭り「朝少フェスタ2018」を、9月29日(土)～30日(日)に行いました。参加した子どもたちやボランティアの高校生たちによる手作りの屋台で、大江町の子どもたちや地域の皆さんを迎えました。チョコバナナやかき氷、焼きそばなどを手作りしたり、射的や輪投げなどたくさんのゲームの店員さんになったりしながら、お祭りを盛り上げました。おみこしの登場や太鼓の演奏など盛りだくさんの内容に、参加者もお客さんも大満足の一日となりました。



# 朝日の山並み

発行  
朝日少年自然の家  
電話  
0237(62)4125  
Fax (62)4126  
ホームページ  
山形県朝日少年自然の家  
で一発検索



### 「不便」を考える

山形県朝日少年自然の家 所長 後藤 秀之

今年度前期、『出会いつどい』のあいさつの中で、「朝日少年自然の家は、テレビも電話も電子レンジもありません。普段の生活と違って、不便を楽しむ所です。」というお話をしてきました。これは、自然の家の生活を通して、自分達の生活がいかに恵まれているかを改めて考えてもらおうというものでした。

しかし、最近の県北豪雨や西日本豪雨、北海道胆振東部地震で被害に遭われた方々の生活をテレビや新聞で見ると、「不便を楽しむ」という言葉にとっても抵抗感を覚えるようになっていきます。電気がない生活、水が出ない生活、食料が思うように手に入らない生活、そして確かな情報が入りづらい生活の不便さは、きっと想像を超えるものだと思います。ましてや、家族や親しい友人を亡くして辛い思いをしている方々の姿を見ると、胸が詰まる思いがします。簡単に言えることではありませんが、少しでも早く元気を取り戻して普段の生活ができるようになればと願うばかりです。

被災された方々にとっては、不便に苦しむことはあっても、楽しむことなどありえません。「不便を楽しむ」ということは、いつでも便利な世界に戻ることができる環境にある人だけが言えることなのだ・・・と改めて考えてしまいます。

世の中には、不便と便利の両極だけがあるわけではありません。特にぜいたくをするわけでもなく、身の丈に合った生活をする、今あるものに満足して普段生活を送ること、そしてそこで自分が生かされていることに感謝することこそ、最も豊かで幸せなことなのだと思います。

「朝日少年自然の家は、少々不便な生活を通して普段の生活のありがたさや考え直す所、そして今生きている自分自身を見つめ直す所」なのだと思います。

### 今後のイベントのご案内

#### 企画事業 プラネタリウム一般公開

「秋・冬の星空めぐり」

楽器の生演奏やプロの星座アナウンスを聞きながら、秋～冬の星座を紹介します。星空観望会も計画しています。

☆11月24日(土)

☆11月25日(日)

1日2回ずつ上映

募集人数・・・各回60名



#### 朝日わくわく広場◎「クリスマスリースと門松作り」

朝少でとれた自然の材料を使って、自分だけのオリジナルのクリスマスリースや門松を作ってみませんか?

☆12月8日(土)

対象…小学3年～中学生・保護者

リース・門松 各30名



イベントの詳細については、実施日の約1ヶ月前に朝少のHPにて情報をアップします。ぜひご覧ください。